

平成29年度

## 支笏洞爺ニセコルート 活動報告

- 1. ルート運営活動計画の進捗状況
- 2. 活動団体の活動状況及び課題
- 3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
- 4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

## 1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月日:2018/3/31
------------------	-----------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号		
景観 (ウェルカム北海道エリア)	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討	—	—	—	—			ウェルカム北海道エリアの景観づくり活動として、支笏湖での春・秋の清掃活動、恵庭インターイング、新千歳空港周辺でのおもてなしの花植活動が定番化している。 千歳ウェルカム花ロードでは、昨年度に引き続き、クラウドファンディング挑戦し、目標達成率132%と多くの方に応援いただき、花苗投3700株の増加と約800mの延長が実現した。 今後も引き続き、各地域で定番化した活動を継続し、ウェルカム北海道エリア一体となつた景観づくりを進めていきたい。
		エリアマップの作成	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—			
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	支笏湖の湖面利用に関する規制	—	—	—	—			
		水辺の眺望ポイントの整理	—	—	—	—			
		河川や湖面、沿道の清掃 (* 清掃活動の推進)	453(ヨーサン)530(ヨミセロ)キャン ペーンin支笏湖	NPO法人支笏湖まちづくり機構 Neoステージ	平成29年5月30日 平成29年9月29日	約120名 (主催者側5名、一般参 加者115名)	S W 1		
		ごみゼロの日クリーンウォーキング	市役所ボランティアサークル・シ ボラ	市役所ボランティアサークル・シ ボラ	平成29年5月30日	約5,000名 (主催者側50名、一般参加 者4950名)			
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	みどりのマイルストーン(道標)の整備	—	—	—	—			
		恵庭岳公園線植えるカム花ロー ド	恵庭市(建設部管理課)、北海道 (空知総合振興局 札幌建設管理 部 千歳出張所)、えにわシーニッ クプロジェクト		平成29年6月17日	約100名(主催側15名、 一般参加85名)			
		ウェルカムゲートの整備促進	Welcome to Hokkaido 千歳ウェルカム花ロードver.15	千歳ウェルカム花ロード実行委 員会(社団法人千歳青年会議所 他)	平成29年5月16・17日(土 起)、5月23日(授業・植 栽)、7月12日・9月28日(除 草)	約560名 (主催者側185名、一般 参加者385名)	S W 2		
		花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	—	—	—	—			
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去	—	—	—	—	—			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2018/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号		
景観 (ニセコ羊蹄エリア)	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる  四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	眺望ポイントの調査	—	—	—	—		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。各地域で子ども達と一緒に活動が目立っている。	
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	—	—	—	—			
		花と緑の植栽	綺羅街道沿道植栽	NPO法人ニセコまちづくりフォーラム	平成29年5月29日	120名(主催者側40名、一般参加80名)			
			フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成28年6月4日	80名			
			喜茂別町「花いっぱい運動」	NPO法人きもべつWAO	平成29年6月24日	30名			
	廃屋の撤去  フォトコンテスト	廃屋の撤去	—	—	—	—		各地域で景観づくりや保全の取り組みが定着・浸透しており、行政機関同士の情報共有、情報交換を継続していく。	
		フォトコンテスト	—	—	—	—			
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理	3町連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理(草刈等)	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会／京極町景観を考える会／NPO法人きもべつWAO	平成29年7月25日	40名			
		河川景観の保全と河畔林の創出	尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリバーネット	平成29年6月17日	290名	S N 1		
		散策路・フトバスの整備	フットパスウォーク2017in真狩村	NPO法人しりべつリバーネット	平成29年5月21日	120名			
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		—	—	—	—			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清						報告年月日:2018/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号		
景観 (洞爺湖エリア)	洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究	協働型インフラ会議(国道230号洞爺湖エリア)	—	平成29年度	—		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。	
		サクラの植栽	MOVE洞爺湖2017～花壇整備や桜の植樹	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成29年4月29日	250名			
		花と緑(紅葉する樹木)の植栽	MOVE洞爺湖2017～花壇整備や桜の植樹	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成29年4月29日	250名			
		洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	MOVE洞爺湖2017～花壇整備や桜の植樹	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成29年4月29日	250名			
		花と緑の植栽	MOVE洞爺湖2017～花壇整備や桜の植樹	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成29年4月29日	250名			
		洞爺湖1周(国道230号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)の清掃活動	1008_453(とうや よごさん) キャンペーン2016	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)	平成29年9月2日	110名	S T 2		
温泉街らしさを演出する	湯煙のあるまちづくりの推進	洞爺湖温泉の花・プランター整備	MOVE洞爺湖2017～花壇整備や桜の植樹	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成29年4月29日	250名	S T 1	継続的な活動が展開されており、引き続き、継続展開が必要。	
		洞爺湖温泉夏祭り	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	—	—	—			
		洞爺湖温泉薬師の日「湯かたまつり」	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	—	—	—			
		洞爺湖温泉冬まつり	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	—	—	—			
		温泉街のサインの統一	—	—	—	—			
果樹園などの田園景観を整える	よごさん(453)キャンペーンの実施	くだもの村の統一看板の設置	実施済み	—	—	—		1008_453(とうや よごさん)キャンペーンについては、年々、参加者数が拡大傾向にあり、町内外からの参加も多数。一方で、参加者拡大に伴う事務局の対応など、今後の展開に向けた検討が必要。	
		馬の歩く道景観づくり	—	—	—	—			
		花和地区の花壇整備	—	—	—	—			
		よごさん(453)キャンペーンの実施	1008_453(とうや よごさん) キャンペーン2016	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)	平成29年9月2日	110名	S T 2		
		花による沿道の演出	沿道美化活動	—	—	—			
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		協働型インフラ会議(国道230号洞爺湖エリア)	—	—	—	—		協働型インフラ会議において、景観保全に関する議論が継続的に行われておらず、引き続き、道路付属施設の改善等、地域協働による検討を進めていく。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2018/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29				
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号
地域 (ウェルカム北海道エリア)	地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成					
		旧ユースホステルの保全・活用					
		歴史や文化的資源も含めた地域資源の発掘と活用					
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘					
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討	「恵み野花マップ」の制作による 地域ブランドのPR	社団法人恵庭観光協会発行(え にわシニックプロジェクト企画)	平成29年度 (春季)		
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作					
		コミュニティビジネス研究					
交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進・活動参加のしくみづくり	ここからはじまる北海道 千歳ウェルカム花ロードver.15 特別授業	花ロード実行委員会	平成29年5月23日	①縁小学校74名(主催10名、 小学生64名) ②千歳小学校57名(主催10 名、小学生47名)		
	各研修会などの開催	花ロード実行委員会	花ロード実行委員会	4月28日 3月15日	各24名		
		国立公園満喫プロジェクト「おもてな しの地域づくり」ミーティング	国立公園支笏湖運営協議会	12月12日、1月16日、 2月27日、3月27日	各14名	S W 3	
	タウンミーティングの開催						

今年度の地域づくり活動は、継続活動の花マップと、花ロードの特別授業に加えて、環境省が展開する国立公園満喫プロジェクトにエントリーし、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」ミーティングを開催した。活動開始から10年以上が経過し、行政機関や関係団体など地域の課題解決に向けた検討・実践を進め、今後のウェルカム北海道エリアでの地域づくり活動について、検討していきたい。

## 1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2018/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号		
地域 (ニセコ羊蹄エリア)	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催	—	—	—	—		後継者不足が課題としてあったが、近年は、小学生との連携や若手人材の活動への参加など、持続可能な体制の構築が図られてきている。	
		音楽コンサートの開催	シーニックナイト2018inくっちゃん	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成30年2月17日	20名			
		地域資源の発掘・活用	教育環境プログラム「シーニックナイトキャンドルづくり」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成28年度	50名			
			タカラモノプロジェクト2018	—	—	—			
	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進	各自治体での清掃活動					各自治体の主体による清掃活動や環境保全に関する取組みが定着してきた。引き続き、継続に向けた実施・検討が必要。	
			教育環境プログラム「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」						
			南しりべし「道の駅」スタンブランマー						
			羊蹄山ろく「道の駅」スタンブランマー						
	地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	真狩地域クラウド交流会	NPO法人しりべつリバーネット	平成30年3月24日	139名	S N 4		
地域 (洞爺湖エリア)	エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催	昭和新山登山学習会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成28年4月16日	50名		地域資源を活用した学習機会の創出や、新たな取組みとして、協働型道路管理マネジメント会議にて、ヒヤリ・ハットマップの作成を行った。	
		地域資源マップの作成	洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	洞爺湖地区協働型道路管理マネジメント会議	平成29年度		S T 4		
	エリア産業の活性化	コミュニティビジネスの研究	ワンストップサポート事業の推進	—	—	—		既存の取組みを継続的に展開している。	
			「胆振の国(いぶりのくに)」食ブランド化プロジェクト	—	—	—			
			洞爺湖有珠山ジオパーク「フードバス」	—	—	—			
		地産地消の推進	そうべつりんごまつり	—	—	—			
			保養型温泉観光の推進	—	—	—			
	エリアの人材育成	体験型農業の推進	—	—	—	—		継続的に学習機会の創出や人材育成に向けた各種取組みが実施されている。	
		NPO化に向けた研修会の開催	—	—	—	—			
		地元の学校と連携した活動の推進	昭和新山登山学習会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成28年4月16日	50名			
		エリア人材登録制度の検討	洞爺湖有珠火山マイスター養成講座						

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清						報告年月日:2018/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号		
観光 (ウェルカム北海道エリア)	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり  エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催  エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	ファームイン・体験農園との連携の検討  食をテーマにした特産品の開発・地域連携の推進  エリア企業との連携による魅力づくり							観光空間づくり活動も定番化している。継続して実施しているシニックナイトは、各地域で広がりを見せ、恵庭市内21箇所、千歳においては支笏のみの開催が、昨年より千歳市内の道の駅等でも実施している。
			えにわシニックナイト	えにわシニックナイト実行委員会	平成30年2月3日、10日	約4200名(主催者1020名鑑賞者約3180名)			
		サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催  観光コミュニティバスの実験運行  ホームページの作成							フェイスブックにおいては、日々移り変わる自然風景や、ちょっとした日常など、地元目線の発信を続けており、閲覧者も増えている。  今年度は、エリア周遊の検討として、千歳市・恵庭市・北広島市が連携した外国人ドライブ観光の推進に向け、外国人を対象とした周遊ドライブコースの検討を行った。
			FaceBookを活用した情報発信	ルート代表者会議	平成29年度継続実施	701名			
		エリアの周遊の検討  トレジャーハント等の実施	ウェルカム北海道エリア 外国人ドライブルート検討	ルート代表者会議・行政連絡会議 合同会議	平成29年12月15日	28名	S W 4		観光空間づくりにおいても、これまでの活動実績を踏まえ、新たな展開を検討していきたい。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清						報告年月日:2018/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号		
観光 (ニセコ羊蹄エリア)	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の継続展開	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成28年度	—		模擬安町にアンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」が開設し、地域住民と来訪者の交流の場、地場産品の販売の場として展開している。今年度は小樽市内のホテルやレストランでの直売やアームボックス設置により、販売経路を広げる取組を行った。今後は適切なニーズの把握やより一層の販売経路の確保等についての検討が必要である。	
			ホームページでの情報発信	イベント情報等の発信	—	—	—		
	エリアのきめ細かな情報の発信	ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	—	—	—	—			
		エリアのホームページの作成	FaceBookを活用した情報発信	—	—	—			
		地域の歴史など基づいたツアーの開催	—	—	—	—			
	地域とのふれあいを大切にした観光の推進	地域の歴史・文化を伝える語りへの会の開催	子どもの水辺安全講座	NPO法人しりべつリバーネット	平成29年度	42名		ニセコ羊蹄エリアを中心として広域展開されたエキノコックス駆除活動は、継続的に実施されている。	
		ふれあいのある体験ツアーの企画開催	ニセコ湯めぐりバス	株式会社ニセコリゾート観光協会	平成29年度	—			
		シニックデッキ・カフェの設置	シニックデッキin八幡	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成29年度	—			
		シニックバスの運行	—	—	—	—			

## 1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清						報告年月日:2018/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						活動状況 資料番号
			活動名	主催	活動実施日	参加人数			
観光 (洞爺湖エリア)  「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	おもてなしキャンペーンの実施	有珠山頂夜まつり	—	—	—	—	—	「Latoya(広域パンフレット)」の作成において、次年度発行される冊子の表紙にシーニックハイウェイのロゴマークが挿入され、補完的な情報提供につながった。
		温泉街ガイドブックの発行	洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	洞爺湖地区協働型道路管理マネジメント会議	平成29年度	—	—	—	
		シーニックデッキの設置	洞爺湖マルシェ 湖畔カフェ	—	—	—	—	—	
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	—	—	—	—	—	—	地域の魅力ポイントをめぐる体験ツアーとして、今年度「カクレモノ☆プロジェクト」をfacebook利用者にターゲットを絞り、試行実施した。今後も地域資源の活用方法やその仕組みを継続していく。
		エコミュージアムガイドブックの発行	洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	洞爺湖地区協働型道路管理マネジメント会議	平成29年度	—	—	—	
		エコミュージアムツアーアの企画・運営	知られざる壮瞥滝の秘密を探るツアーア	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成29年度	20名	—	—	
		冬をめぐるフリークーパス(T-Pass)	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成29年度	—	—	—	—	
		ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営	カクレモノ☆プロジェクト	—	—	—	—	—	
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	エリア人材バンクの設立	—	—	—	—	—	—	各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
		マップ・パンフレットの作成	洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	洞爺湖地区協働型道路管理マネジメント会議	平成29年度	—	—	—	
		物産展の開催	そうべつりんごまつり	—	—	—	—	—	
		花和地区的花壇整備	—	—	—	—	—	—	
シーニックバスツアーの企画・運行	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画	ホームページやエリアマップなどの情報発信	FaceBookを活用した情報発信	支笏洞爺ニセコルート	平成29年度	—	—	—	シーニックバスツアーの企画・運行
		冬をめぐるフリークーパス(T-Pass)	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成29年度	—	—	—	—	
		イベントの企画・運営	—	—	—	—	—	—	
		人材育成のための研修会などの開催	火山マイスター制度	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成29年度	—	—	—	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2018/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光 (ルート連携)	ルートを対象としたイベントの企画・実施	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ 「シーニックナイト2018」	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ 「シーニックナイト2018」	シーニックナイト2018実行委員会	平成30年1月27日～2月18日	1000名	S T N	平成29年度の開催地は、壮瞥町、千歳市市街・支笏湖、恵庭市、京極町、喜茂別町、俱知安町、ニセコ町、赤井川村、小樽市の9市町村で実施。コンサートやイベントとの同時開催など各地での取り組みが多様化する一方、10年を超える継続開催地も多数となり地域の取り組みとして着実に浸透してきている。
			支笏洞爺ニセコ “タカラモノプロジェクト” “カクレモノプロジェクト”	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成29年度	—	—	支笏洞爺ニセコルート内で、これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに『光』をあて、“新たな付加価値”をつける。宝ものプロジェクト。平成24年度から継続的にメニュー作成、商品開発、実際にシーニックカフェでの提供などを行っている。
			—	—	—	—	—	—
	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進～シーニックの森づくりの推進～	—	—	—	—	—	—	—
	特定テーマによるルートプロモーション活動	子ども向け普及啓発資料の検討	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成29年度	—	—	シーニックバイウェイ北海道及び支笏洞爺ニセコルートの認知度向上と次世代を担う子どもたちへの伝えることを目的とした普及啓発資料の作成を継続。

# 支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》

SW-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

## 『千歳ウェルカム花ロードver.15』

- 【概要】** 年間約2000万人の乗降客を有する新千歳空港。北海道を訪れた方々を、小学生や地域の方々と一緒に植えた花の道で歓迎し、子ども達におもてなしの心を育もうと、シニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルートで、毎年5月に千歳ウェルカム花ロードの活動を行っています。平成15年、千歳青年会議所の発案により「千歳エアポート花ロード36」がスタート。平成19年、国・道・自治体が連携した「千歳ウェルカム花ロード」と共同し活動を継続、今年度は15周年を迎えました。黄色のマリーゴールド 約33,000株を植栽し、総延長約7.2kmとなる花ロードが完成し、来道者のみならず、たくさんの方々の目を楽しませてくれました。
- 【日時】** 花ロード特別授業（縁小学校、千歳小学校）  
花植え：5月23日 除草：7月12日
- 【場所】** 千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）
- 【主催】** 千歳ウェルカム花ロード実行委員会
- 【参加人数】** 植栽560名、授業111名



クラウドファンディングに  
チャレンジ！  
目標達成率132%（27名・265,000円）  
が集まり、花苗約3,700株、約800m  
の花ロードを延長しました。



▲事前作業 土おこし(5月16・17日実施)



▲植栽直前の特別授業。道路に関する授業・花植え実験授業を担当者から説明



▲子どもたちと一緒にどんどん植栽



▲植栽の約2ヶ月後におこなった除草  
作業風景



▲道の駅「サーモンパーク千歳」において、15周年記念のパネル展を開催

## 『453・530（ヨゴサン・ゴミゼロ）キャンペーンin支笏湖』

- 【概要】** 453（ヨゴサン）キャンペーンは、春の5月30日（ゴミゼロ）と秋の9月30日に、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。シニックバイウェイ試行当初からの継続活動で13年目を迎えました。活動当初は、50名程の参加者であったのが、企業や団体等のボランティア参加が少しづつ増え、総勢100名を越える活動となりました。また、年々活動に参加いただける団体が増え、人数も増えていることから活動範囲を延長して3.0kmを実施しました。
- 【日時】** 平成29年5月30日、9月29日 午前6時30分～7時30分
- 【場所】** （集合）千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場（バスターミナル）前  
（実施場所）国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐
- 【主催】** NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- 【協力】** 支笏湖自治振興会・支笏湖旅館組合・支笏湖商工会・支笏湖高齢者クラブ・支笏湖恵岳会・支笏湖小学校PTCA自然公園財団支笏湖支部・千歳市・札幌開発建設部
- 【参加人数】** 春：120名、秋：120名



## 『国立公園満喫プロジェクト展開事業：おもてなしの地域づくり』

- 【概要】** 環境省が展開する国立公園満喫プロジェクトの対象地域として、千歳市及び国立公園支笏湖運営協議会などに関わるメンバーにて実践してきた「支笏湖まちづくりビジョン（2004）」を元に、2019年のラグビーW杯、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどを見据え、今後10年を想定し、インバウンド拡大への対応や利用の質の向上に資する具体的なアクションを実施するため、関係団体・機関によるプロジェクトミーティングを開催し、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」について検討した。
- 【日時】** 平成29年12月12日、1月16日、2月27日、3月27日
- 【場所】** 千歳市支笏湖温泉街
- 【主催】** 国立公園支笏湖運営協議会
- 【協力】** 支笏湖温泉組合、支笏湖ビジターセンター、千歳観光連盟、千歳市、国土交通省北海道開発局、環境省支笏湖自然保護官事務所、札幌大通りまちづくり会社（株）、シーニックバイウェイ支援センター
- 【参加人数】** 各14名



▲第1回：支笏湖会議



▲第2回：支笏湖会議



▲第3回：支笏湖会議



▲支笏湖課題マップ

## 『ウェルカム北海道エリア：外国人観光客周遊ドライブルートの検討』

- 【概要】レンタカーを利用する外国人旅行者への安心・安全なドライブの推奨や外国人観光客を対象とした新たなメニューの創出、受入れの課題解決による外国人観光客に季節に応じた観光ルートの提供を行うことを目的とするウェルカム北海道ドライブルート推進事業について、地域・行政の合同会議を開催し、新千歳空港発の外国人観光客周遊ドライブルートを検討した。
- 【日時】平成29年12月15日
- 【場所】千歳市社会福祉協議会
- 【主催】シニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルート  
ウェルカム北海道エリア運営代表者会議・行政連絡会議
- 【参加人数】28名



▲各グループでの周遊ドライブルートの検討



▲完成した周遊ルートの発表



▲記念写真

- 【概要】北海道のラジオ局AIR-Gと連携で開催するボランティア活動。世界ジオパークに認定された洞爺湖周辺の環境保全の活動として、湖畔の彫刻の清掃、花壇整備などを実施するほか、参加者全員でフォークダンス「マイムマイム」を踊った。
- 【日時】平成29年4月29日（土）9:30～
- 【場所】洞爺湖町洞爺湖温泉
- 【主催】一般社団法人洞爺湖温泉観光協会／AIR-G'
- 【協力】室蘭開発建設部
- 【参加人数】250名



洞爺湖畔 花壇造成の様子



とうや湖ぐるっと彫刻公園  
花壇造成の様子



花植え1か月後の様子  
(とうや湖ぐるっと彫刻公園)

## 1008 453(とうや よござん)キャンペーン2016

**【概要】** 従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とおや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。今年は、参加人数も過去最高の110名となり、6コースと広い範囲で展開。回収ゴミの量は洞爺湖町側で1トン、壮瞥町側で約2トン、伊達市で約1トン、合計5トンのゴミを回収した。

**【日時】** 平成29年9月2日(土) 8:20~11:30

**【場所】** 洞爺湖1周  
(国道230号・国道453号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)

**【主催】** 支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)

**【参加人数】** 110名



過去最多110名の参加となった開会式



ゴミ拾い中の参加者の様子



ゴミ拾い終了時の様子

# 支笏洞爺ニセコルート

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

《洞爺湖エリア》

ST-3

道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験

【概要】シーニックバイウェイによる沿道の景観清掃活動の中で目に付いた道路の景観を阻害する胡桃の木等を撤去する活動を兼ねて、友の会では自発的に遊歩道に杖を設置した。

【日時】平成29年6月18日

【場所】洞爺湖周辺(国道453号沿い)

【主催】NPO法人  
有珠山周辺ジオパーク友の会

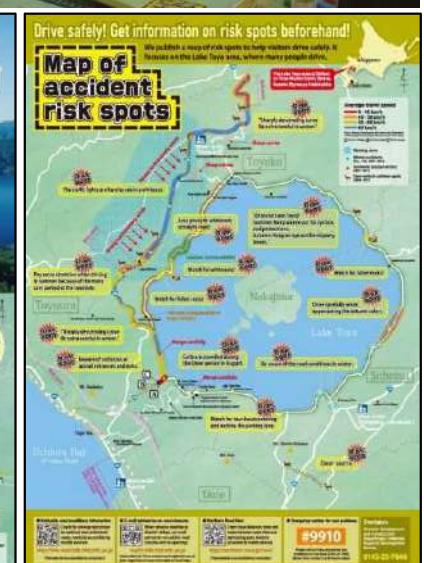
【協力】室蘭開発建設部

【参加人数】30名



1008 453(とうや よござん)キャンペーン2016

- 【概要】** 地域住民及び道路管理者双方にとってもメリットとなる効果的な情報提供ツールとして（「洞爺湖エリアドライブマップ」）を作成。具体的には、「ヒヤリ・ハット」箇所や「道の駅おすすめ情報」、「おすすめビューポイント」等の情報提供を行うことで、道路利用者にとっても有益なマップとなるよう配慮した。※日・英版：2か国
- 【日時】** 平成28~29年度  
**【発行】** 洞爺湖地区協働型道路マネジメント会議



英語版マップ『Lake Toya Area Driving Map』

### 第23回 尻別川クリーン作戦

- 【概要】**清流日本一に何度も選ばれている尻別川の清掃活動。清らかな流れを守り自然を大切にすることが心の輪の広がりにつながるというコンセプトのもと、今年で23回目を迎えた取り組み。町内外から約290名の方々にご参加、ご協力をいただき、ランラン公園から港地区までの約25km区間、徒歩及びカヌー30艇、ラフティングボート7艇等を使用しての清掃活動を行った。今年も地上と合わせて2トントラックで2台のゴミを収集できた。
- 【日時】**平成29年6月17日（土）9:00～12:00
- 【場所】**尻別川ランラン公園、目名川橋下流、御成橋付近、港地区ほか
- 【主催】**蘭越町／NPO法人しりべつリバーネット
- 【参加人数】**約290名



ラフティングでの清掃



中州に上陸し流れ着いたゴミを回収



SUPを使った河川流域の清掃



ゴミ回収の様子



尻別川クリーン作戦参加者の集合写真

### 俱知安農業高校との連携によるフラワーハンギング整備

- 【概要】**NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会の事業の一つ。  
森づくりセンターの花による装飾のため、俱知安農業高校の生徒(3年生)と授業の中で花の植え方やハンギングについて学ぶ機会を設け、その後、森づくりセンター壁面に設置。
- 【日時】**平成29年7月6日（木）
- 【場所】**森づくりセンター（俱知安町）
- 【主催】**NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会／俱知安農業高校
- 【参加人数】**約290名



### 地域協働による国道交差点の冬道つるつる路面対策

- 【概要】** 国道230号沿線の喜茂別町市街地及び喜茂別小学校への通学路において冬期ツルツル路面が課題として挙げられていた。協働型道路管理マネジメント会議等での議論を踏まえ、NPO法人きもべつWAOメンバーにより、冬期の砂まき等が継続的に実施されている。
- 【日時】** (夏) スリップストップ！砂詰め大会：平成29年8月15日  
(冬) 交差点部での砂まき活動：平成29年12月～平成30年2月頃まで
- 【場所】** 国道230号交差点付近（喜茂別町）
- 【主催】** NPO法人きもべつWAO
- 【協力】** 後志建設工業（株）



### 真狩地域クラウド交流会

**【概要】** 真狩村”初”開催。顔の見えるビジネスマッチングの機会と、真狩村で起業する方をクラウドシステムを使い応援する交流会型のイベント。

- ・アイスブレイク「大人の本気のラジオ体操第1」
- ・起業家プレゼン+クラウド交流タイム+応援投票
- ・「応援し隊」のご紹介・PR
- ・応援投票結果発表、賞品授与式など

**【日時】** 平成30年3月24日（土）

**【場所】** 真狩交流プラザ（真狩村）

**【主催】** 真狩地域クラウド交流会実行委員／NPO法人しりべつリバーネット

**【参加人数】** 139名



# 支笏洞爺ニセコルート《ルート全体》

STN

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

活動名：シーニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～

【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつなぐ、”シーニックナイト2018”。各エリア、年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、各種地域イベントとの連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】2018年1月27日(土)～2月18日(日)まで

【場 所】支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内：9市町村)

【主 催】シーニックナイト2018実行委員会

【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議／支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議ほか



支笏湖温泉(千歳市)



道の駅そうべつ情報館(壯瞥町)



北海道ワイン工場(小樽市)



駅前温泉綺羅乃湯(ニセコ町)



道の駅花ロードえにわ(恵庭市)



道の駅あかいがわ周辺(赤井川村)



郷の駅ホッピときもべつ周辺(喜茂別町)



国道5号沿線(俱知安町)

### 3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷 清	報告年月:2018/3/31
-------------------------------	------------------------	----------------

活動団体
・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ ・えにわシニックスプロジェクト ・社団法人 千歳青年会議所 ・NPO法人まちづくりスポット恵み野 ・国立公園支笏湖運営協議会 ・地域FM放送局e-niwa (計6団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>●エリア代表者会議の運営 (構成)</p> <p>(代表)エリア代表 平成17年・20・23・24・25・26・27・28・29年 泉谷 清 (えにわシニックスプロジェクト) 平成18年・21年・22年 白石 一人 (NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ) 平成19年 佐藤 哲也 (社団法人 千歳青年会議所)</p>

地域の運営に関わる事項	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	エリア運営(事務局体制:スケジュール調整など)													
	ルート運営代表者会議				● 6月16日 (第1回) 恵庭				○ 10月10日 (第2回) 俱知安	○ 11月8日～9日 (道央道南B) 壯瞥				
	エリア代表者会議					● 7月20日 (第1回) 千歳				● 12月15日 (第2回) 千歳			● 3月15日 (第3回) 恵庭	
	シニックスナイト2018									● 12月13日 (シニックスナイト恵庭実行委員会)				
	検討会・勉強会など	● 4月28日 (第1回花ロード 実行委員会)											● 3月15日 (第2回花ロード 実行委員会)	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2018/3/31
------------------	-------------	----------------

行政の運営に関わる事項	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議の実施	● 4月28日 (第1回花ロード 実行委員会)			● 7月20日 (第1回) 千歳					● 12月15日 (第2回) 千歳			●3月15日 (第3回) 恵庭 ●3月15日 (第2回花ロード 実行委員会)	

### 3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:洞爺湖エリア代表 高階 明修	報告年月:2018/3/31
--------------------------	--------------------	----------------

活動団体
一般社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったりリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、そらべつぐだもの村、NPO法人そらべつ観光協会、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会、ナチュラル・フロンティア(株) (以上8団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1)洞爺湖エリア代表者会議 シニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2)洞爺湖エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的な運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			● 6月16日 (第1回) 恵庭				○ 10月10日 (第2回) 俱知安	○ 11月8日～9日 (道央道南B) 壮瞥					
	エリア代表者会議			● 6月2日 (第1回) 壮瞥町										
	胆振サイクリングワークショップ、 日高地域勉強会など								● 12月11日 (第1回サイク ルWS) 室蘭市		● 2月9日 日高SBW 準備会	● 3月8日 (第2回サイク ルWS) 室蘭市		
	シニックナイト2017								事務打合せ	地域内調整	● 1月27日～2 月18日：実施			
	1008 453 キャンペーン 2016 ／道路周辺等の雑木駆除を生か した観光振興実験						● 9月2日 1008 453 キャ ンペーン 2017							

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2018/3/31
--------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議・協働型道路管理 マネジメント会議の実施			● 6月5日 行政連絡会議			● 9月29日 協働型会議①				● 1月26日 協働型会議②			

### 3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者: ニセコ羊蹄エリア代表 熊谷 雅幸	報告年月: 2018/3/31
-----------------------------	-----------------------	-----------------

活動団体
共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコまちづくりフォーラム、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO、北海道ワイン道と緑を守る会(以上12団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議 シニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表:熊谷 雅幸(らんこしWAO)</p>

地域の運営に関わる事項	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			● 6月16日 (第1回) 恵庭				○ 10月10日 (第2回) 俱知安	○ 11月8日～9日 (道央道南B) 壯瞥					
	エリア代表者会議				● 7月25日 (第1回) 俱知安町									
	シニックナイト2018								事務打合せ	地域内調整	● 1月27日～2 月18日:実施			
	タカラモノプロジェクト2016							継続展開中(道の駅ほか、情報拠点での市場調査など)						

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 小樽開発建設部	報告年月: 2018/3/31
-------------------	--------------	-----------------

行政の運営に関わる事項	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議・協働型道路管理マネジメント会議の実施					● 8月9日 協働型会議① ● 8月22日 行政連絡会議				● 12月21日 協働型会議②		● 2月7日 協働型会議③		

## 4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート			報告者:小樽開発建設部		報告年月:2018/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	各自治体での清掃活動	平成29年春	エリア内各自治体	取り組みは定着しており、地域住民の参加もある程度確保できており、次世代につなぐ取り組みとして若手職員の参画が行われてきている。	各地域で景観づくりや保全の取り組みが定着・浸透しており、行政機関同士の情報共有、情報交換を継続していく。	1
		フラワーロードゆり植え事業	平成29年6月4日	真狩村	ゆりの球根代など経費が高く、村からの助成金負担も大きい。参加者の確保や、土地所有者に頼っている維持管理の協力がいつまで続くかが課題。花の満開時期の沿道草刈りを検討したい。		2
		ビューポイントパーキングの花壇整備・維持管理	平成29年夏	喜茂別町	活動は継続中。行政は人的支援のみで予算手当はなし。		3
		花いっぱい運動	平成29年6月8日	留寿都村	地域住民が約100名参加する地域活動として定着。地元の高校や、小中学校の特殊学級も参加。現在は村が観光協会に委託して花の維持管理がされている。		4
	尻別川など自然豊かな水辺の景観をつくる	尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理(ビューポイントパーキングの草刈り等)	平成29年7月25日	京極町、喜茂別町、俱知安町、小樽開発建設部	3町の活動団体と行政が合同で実施することにより作業の効率化が図られているのは成果である、当面課題であった活動団体の高齢化は若手メンバーの加入により解決している。		6
		尻別川クリーン作戦	平成29年6月17日	蘭越町、後志総合振興局、小樽開発建設部	清掃作業のみならず、作業終了後の地域交流会が実施されている。		7
地域	歴史や文化資源を含めた地域資源の発掘と活用	フトバス体験(ニセコ、真狩)	平成29年5月21日	真狩村	既存コースを活用し住民参加型で地域資源の魅力発掘を実践。今後の進め方は協議会で検討していく。	協議会と関係団体で情報共有、意見交換を継続していく。	8
	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	シニックバイウェイのパネル展	平成29年度	小樽開発建設部	管内の生産者と消費者との交流を目的に小樽市内で開催されているイベント(後志収穫祭)と連携し、ドライブ観光の促進としてシニックバイウェイや道の駅を来場者に紹介。効果検証が今後の課題。	管内を訪れる国内外観光客に対し、地域的魅力を発信するため、自治体・「道の駅」などと連携したPR活動を行っている。	9
		シニックナイト2018	平成29年1~2月	管内6市町村、小樽開発建設部、俱知安開発事務所	行政は人的支援と広報協力によって活動団体をサポート。		10
	地域の人材育成と活用	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会	平成29年度	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会、小樽開発建設部	協議会事務局にてH28~29年度の行動計画を策定中。	今後、羊蹄山麓広域景観づくり検討会議とSBWの連携を深め、景観を通じて広域連携の取り組みを実施していく。	11
観光	エリアのきめ細やかな情報な発信	しりべしシステム事業との連携(HP等の媒体活用)	平成29年度	後志観光連盟、小樽開発建設部	「しりべしシステム」の地域だよりで発信する情報を、各自治体等から提供。	地域の魅力を発信するため、自治体・「道の駅」などと連携したPR活動をおこなっている。	12
その他	環境に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除活動	平成29年度	俱知安町、京極町、蘭越町、ニセコ町、喜茂別町、真狩村	散布するペイントの経費を町が負担している。	5自治体(蘭越、ニセコ、喜茂別、京極俱知安)にて予算付けされ、地域全体の取り組みとして認知してきた。	13

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)			報告者:札幌開発建設部	報告年月:2018/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成29年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出 北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロード」の主催及び協力	平成29年6月17日	・恵庭市	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インター-チェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。 ・今後も、各行政機関連携のもと、活動団体の意向に対する調整や支援メニューの提案など、密な連携が望まれる。 また、千歳ウェルカム花ロードは15年目を越え、千歳市民を始め全道・全国へのPRとなる情報発信に努め、特別授業の実施や、地下歩行空間での展示などに取り組んだ。	1
				・北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成。4カ年限定の事業であったが、継続した支援体制を続けている。		
		・「453・530(ヨゴサン・ヨミセロ)キャンペーン」のゴミ処理、清掃用具の提供等	平成29年5月30日 平成29年9月29日	・千歳市	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きその他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加		
				・札幌開発建設部 千歳道路事務所	・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加		
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・「千歳ウェルカム花ロードver15」の運営支援 ①地下歩行空間におけるPR展示 ②土起こし ③花ロード特別授業(千歳市立緑・千歳小学校) ④花植え ⑤除草	平成29年 ①5月15日～22日 ②5月23日 ③④5月23日 ⑤7月12日・9月28日	・千歳市	・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り実施。 ・小学校による花ロード特別授業の講師を実施		
				・札幌開発建設部 ・千歳道路事務所	・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 活動全般に関する企画・運営支援、関係行政機関、団体等との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより国道36号の植樹マスへの植栽・草刈りを実施。 ・花ロード活動の広報支援。PR展示(地下歩行空間)の企画・調整・実施 ・小学校による花ロード特別授業の講師を実施		
				・北海道空知総合振興局札幌建設管理部	・道道千歳インター線において、植栽活動を実施。 ・植栽後の維持管理が課題(小学生や地域との連携を考えたいが、安全面の問題があり難しい。現在も、月1回実施しており、行政側の対応としては限界という状況) ・企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。		

地域	地域資源の発掘と保全活用					環境省が展開する国立公園満喫プロジェクトの共同実施者として、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」ミーティングに参加した。	4
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出						
	交流と連携による地域づくりの推進	国立公園満喫プロジェクト「おもてなしの地域づくり」ミーティングへの参加	12月12日、1月16日、2月27日、3月27日	・環境省 ・千歳市 ・札幌開発建設部	・環境省が展開し、地域団体が受託した国立公園満喫プロジェクトの共同事業者として、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」ミーティングに参加し、各機関からの助言を行った。		
観光	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	支笏湖マップ増刷・配布				地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通してルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。地域内外でルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。 今後も、行政機関等と連携し、活動団体と協働で企画や調整、参加、相談などの支援、情報発信、提供による支援も継続して行っていく。	5
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・各ホームページ等による情報発信	平成29年度	・北海道	・道路課のトップページにて、シニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。		6
			平成29年度	・札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。		
			平成29年度	・札幌開発建設部	・H19年度より、さっけんホームページにおいてシニックバイウェイ制度やルートに関する情報を掲載。		
		・「シニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～」	平成29年度	・恵庭市	・ルート連携活動「シニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～」実施のための除雪支援、市役所ボランティアによる活動参加。		7
			平成29年度	・千歳市	・ルート連携活動「シニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～」実施のためのキャンドル費用を支援		
			平成29年度	・北海道石狩総合振興局地域政策課ほか行政連絡会議関係機関	・ホームページにて、ルート連携活動「シニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～」の活動周知のための情報を掲載。(石狩の風景にて、実施の様子を掲載)。シニックナイトのポスター掲示。		
		・「シニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～」への後援及び活動PR ・除雪協力	平成30年2月3日～2月11日	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部、千歳道路事務所、滝野すずらん丘陵公園事務所ほか	・ルート連携活動「シニックナイト2018～旅の思い出に寄り道しよう～」において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポートとなり、取り組みを応援。		8
		★地下歩行空間におけるシニックバイウェイ北海道PR	平成29年度	・札幌開発建設部	・地下歩行空間でシェルフバイウェイを使用して、シニックバイウェイ北海道のPRイベントを開催 ・支笏洞爺ニセコルート紹介や、パネル展示、パンフレット配布		

ルート名称:支笏洞爺ニセコレート(洞爺湖エリア)			報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2018/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
景観	洞爺湖に彩を添える	MOVE洞爺湖2017	平成29年4月29日	洞爺湖町	AIR' Gとの協力の下、洞爺湖町が洞爺湖温泉街の花壇整備・清掃活動を2001年から継続展開中。洞爺湖畔のゴミ拾い、彫刻清掃に加えて、花壇整備や桜の植樹を行っている。	当該地域では、清掃活動や花壇整備などの景観づくりが行われている。今後も地域住民の「想い」を各関係行政機関が「後押しする・繋げる」などの協働型マネジメントの取り組みにシフトしていくことが必要であると思われる。	1
地域	エリアの資源の保全活用	ジオツアーホタル学習会 一火口原・小有珠・旧登山道巡り	平成29年5月21日	壮瞥町	有珠山学習会として、銀沼火口周辺散策後、小有珠山頂に登り、北外輪山から壮瞥温泉に下山するツアー。コース案内として友の会ガイド部会、火山マイスターが担当した。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携した適切な維持管理体制の構築が必要。	2
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進	平成28年度	胆振総合振興局	胆振総合振興局は平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。平成27年度は新たに5名が加わり現在40名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場が広がってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養成講座」も継続を予定している。		3
観光	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	「オールいぶり」によるビジットジャパンキャンペーンの展開	平成29年度 (継続展開)	北海道運輸局 伊達市 豊浦町 洞爺湖町 壮瞥町	運輸局と連携し、北海道登別洞爺広域観光圏が中心となって、ビジットジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向けた取り組みを推進している。 VJCでは、海外のマスコミやエージェントに対して、また修学旅行等をターゲットとした各種PR活動を展開している。	当該管内では、「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を中心に自治体間や関係行政機関の連携が積極的に図られている。行政としては行政連絡会議や各種取り組みにおいて参加協力及び人的支援等による連携が図られている。	4
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	洞爺湖有珠山地域ジオパーク関連ツアーホタル学習会	平成29年度	壮瞥町	ジオサイトとなっている洞爺カルデラの中にある中島を散策する「洞爺湖中島散策会」ほか、有珠山、昭和新山を登山するジオツアーや開催。参加者は、さまざまな分野を学習し、壮大な火山活動が創った有珠山、洞爺湖等、ジオ・エコツアーや楽しんだ。		5
		いぶりサイクリングワークショップin洞爺	①平成29年12月11日 ②平成30年3月8日	胆振総合振興局 洞爺湖町 壮瞥町 室蘭開発建設部	洞爺湖地域におけるサイクルツーリズムの展開に向けて、ワークショップを2回開催。第1回目は、現状と課題、改善点、ニーズ等の把握を、第2回目は、基幹ルートや既存イベントとの連携、地元地域が自ら取り組めることについて意見交換を行った。		6
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成29年度	洞爺湖町	洞爺湖温泉にぎわい広場に延長約70mのトンネルを設置し、LEDなど約40万個の電球で飾る。		7
		シニックナイト2018	平成29年1~2月	胆振総合振興局 伊達市 壮瞥町 室蘭開発建設部	シニックバイウェイ北海道・支笏洞爺ニセコレートでの冬の夜を楽しむイベント、「シニックナイト2018」。一般市民が多数参加し、キャンドルの火を灯すことにより、地域住民及び観光客に対して、広くシニックバイウェイの取組をPRすることができた。各行政機関も後援などの形で支援を行っている。		